

**令和５年度
宮崎県職員採用試験【大学卒業程度（林業）】**

専門論文試験課題

<課題>

本県では、「２０５０年ゼロカーボン社会づくり」を掲げ、２０５０年までに温室効果ガス排出量実質ゼロを目指しており、省エネルギーの取組と再生可能エネルギーの導入により排出量をできるだけ削減し、森林等のＣＯ２吸収量により相殺する（排出量と吸収量とを均衡させる）ことで、「実質ゼロ」を達成することになっています。

このため、県ではゼロカーボン社会の実現に向けて、「省エネ・省資源の推進」、「再エネの導入拡大」、「森林吸収量の維持」、「環境保全を支える人材づくり」の４つの柱で施策を推進しています。

このうち、収穫期を迎え、高齢級化に伴いＣＯ２吸収量が減少傾向にある本県の森林において、「森林吸収量の維持」は大変重要な施策となっています。

豊富な森林資源を活用して循環型林業を確立させ、二酸化炭素の吸収・固定（貯蔵）機能を強化していくためにはどのような取組が有効であるか、あなたの考えを述べなさい。